

事業番号	- 4	事業名	ものづくり産業振興事業（伝統産業振興：後継者育成）			
所管	産業振興	局	商工労働	部	ものづくり支援	課
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・PR不足である。伝統産業そのものや伝統産業振興事業の周知を強化すべき。 ・マイスターのステータスが向上するような取組みが必要。 ・市民が見て触れることができる展示の場が必要。 ・効果的なPR手法として、マイスター推進委員会事業（観光事業との連携、ビデオ作製など）に重点を置いてはどうか。 ・マイスター制度を意味ある活動とするには、マイスターそのものをビジネスとして成立できるようにすべきではないか。 ・後継者育成の方法論として補助金では無く、奨学金貸付のように一人前の職人となれば返済免除などの制度を検討してはどうか。 						
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施（現行どおり）					2	0
市で実施（強化・拡充）					5	0
的 主 な 具 体 的 強 化 策	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスターのPRと同時に予算の拡充が必要と思う。伝統産業技能の継承の充実が必要。 ・堺の強みは伝統しかない。これの振興は行政の役目だ。 ・後継者育成事業のPRを強化し、予算拡充をめざしてほしい。補助期間、金額の検討も必要。 					
市で実施（要改善）					8	5
の 事 業 主 体 ・ 手 法 の 改 善 策	民間への委託を進める				(0)	(0)
	市民との協働を推進する				(2)	(0)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する				(0)	(1)
	その他				(1)	(0)
事 業 実 施 の 改 善 策	事業の実施内容を見直す				(1)	(3)
	他の事業との統合・再編を検討する				(0)	(0)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）				(0)	(0)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る				(7)	(2)
主 な 具 体 的 改 善 策	その他				(0)	(0)
	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスターになる為の入口はやはり必要だと思う。事業所への援助、新入社員3年間援助には賛成（マイスターの価値をさらに高めるために工夫は必要）。 ・対象事業の見直し（削減）が必要。 ・伝統産業の振興は大事かもしれないが、支援の仕方を考える。 ・マイスターの育成とともに商品価値を高めるPRが必要。 					
実施主体の見直し					0	0
選 択 の 理 由	民間の方が効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(0)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業は不要					1	0
選 択 の 理 由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）				(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない				(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき（税金を投入する必要はない）				(0)	(0)
	効果がない（低い）				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。